

平成 28 年度「学内施設の満足度に関する学生アンケート」の結果概要

平成 28 年 10 月 31 日～11 月 21 日に、学内施設の満足度に関するアンケートを実施し、495 名の学生から回答を得た。アンケートは、平成 28 年春に学内システムとして新規導入された Office365 を利用して行った。

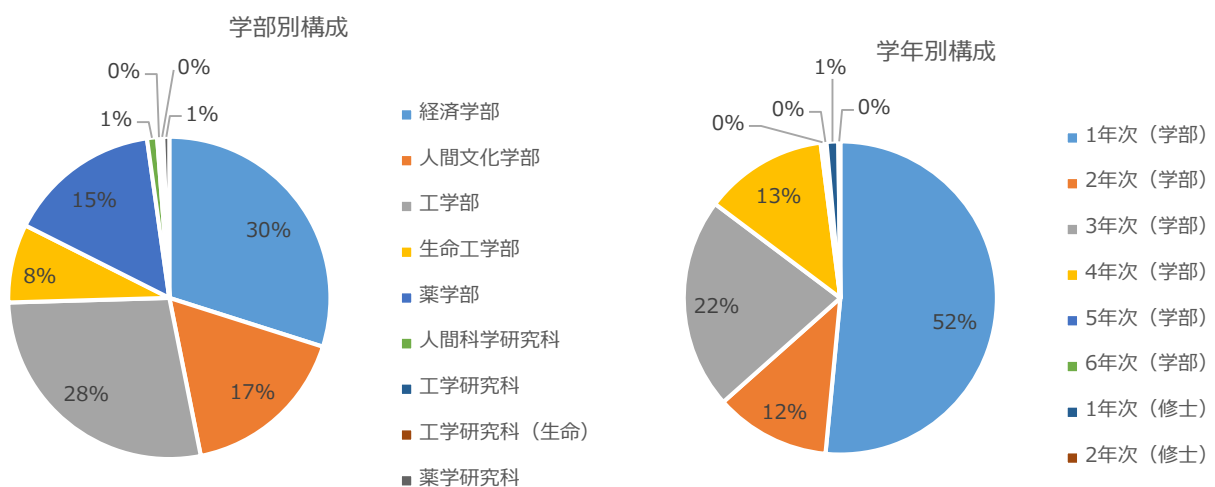


図 1 回答者の学部別・学年別構成

回答者の学部別構成と学年別構成を図 1 に示す。学部別構成は、経済学部 30%、工学部 28%、人間文化学部 17%、薬学部 15%、生命工学部 8%と、学部間のばらつきはあるが、全ての学部から回答が得られた。大学院生の回答は、人間科学研究科 5 名、工学研究科 2 名、工学研究科 (生命) 1 名、薬学研究科 3 名であった。また回答者の学年別構成は、1 年次 52%、2 年次 12%、3 年次 22%、4 年次 13%と、やはりばらつきはあるものの、全ての学年から一定数の回答が得られた。他に薬学部 5 年次生は 1 名、6 年次 1 名、大学院修士課程 1 年生次生は 6 名、2 年次生は 1 名であった。回答者の性別構成は、男性 73%、女性 26%であった。

回答率は全学で 14.8%であった。前回平成 27 年度アンケート時の回答率 11.1%と比較して 3.7%向上した。これは、前は学内教育システムである Cerezo を用いたことで、事実上の記名式アンケートとなったことに対し、今回は Office365 を利用し、回答者のメールアドレスなどを収集しない無記名式としたことの効果があったものと考えられる。

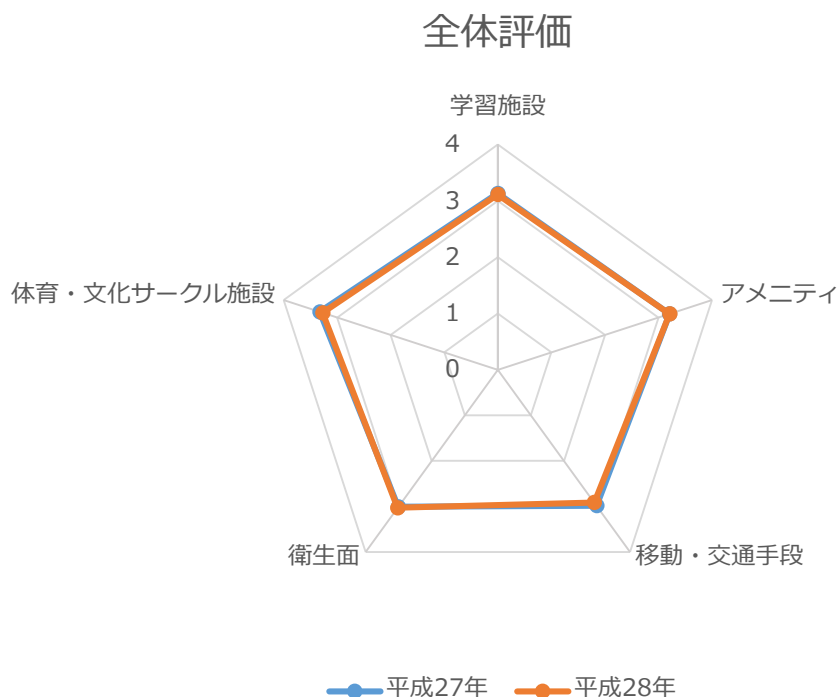


図2 カテゴリー別平均点

アンケートでは、主な学内施設（例：教室）の満足度を、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の4段階の一つを選択する形で尋ねた。ただし、回答者が当該施設を利用したことがないなどの理由で満足度の評価ができない場合は、「わからない」と回答するように指定した。また「やや不満」あるいは「不満」と回答した項目については、不満の理由を選択回答および自由記述形式で尋ねた。選択回答では複数項目の選択を可とした。

4段階評価の集計方法として、質問した学内施設毎に、「満足」に4点、「やや満足」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点を与えて、「わからない」を除く全回答者の平均点を求めた。さらに各施設を、学習施設、アメニティ、移動・交通手段、衛生面、体育・文化施設の5つのカテゴリーに分け、各施設のカテゴリー毎の平均点を求めた。

図2に、こうして求めたカテゴリー別平均点を示す。比較のために、今回の平成28年度のアンケート結果を橙線で、前回の平成27年度の結果を青線で示した。平成28年度の点数は、学習施設3.1、アメニティ3.2、移動・交通手段2.9、衛生面3.0、体育・文化施設3.3で、いずれのカテゴリーも「やや満足」と「やや不満」の中間点である2.5を上回り、学内施設に対する学生の満足度は、概して良好であることが示された。平成27年度と比較すると大きな差異はなく、平成28年度も前年度とほぼ同様の満足度水準といえる結果となった。

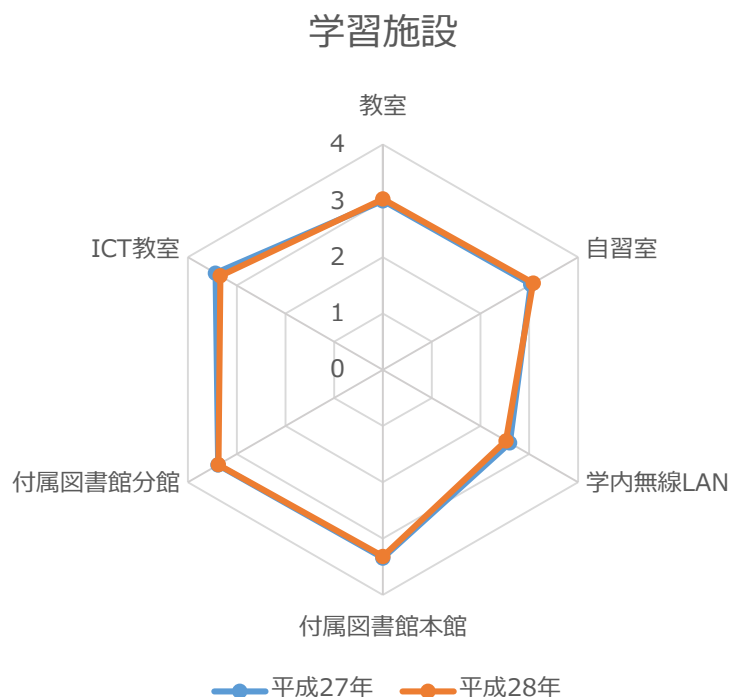


図3 学習施設の項目別評価点

以下、各カテゴリーの項目別評価点を見てゆく。グラフはカテゴリー別平均点の図2と同様、平成28年度のアンケート結果を橙線で、平成27年度の結果を青線で示す。学習施設の項目別評価点（図3）は、教室 3.0、自習室 3.1、付属図書館本館 3.3、付属図書館分館 3.4、ICT 教室 3.3 で、これらの項目は「やや満足」に相当する3点以上の評価となった。しかし学内無線 LAN の評価点は 2.5 で、「やや満足」と「やや不満」の中間点に相当する評価であるが、相対的に低い評価となった（平成 27 年度調査では 2.6 点）。

学内無線 LAN の不満点として、全体に無線 LAN の接続の悪さが指摘されており、選択回答では「電波の弱さ」144 件、「速度の遅さ」130 件、「接続エリアの狭さ」115 件、「接続スポット数の少なさ」95 件などが多く挙げられ、自由記述では「29 号館の院生室に Wi-Fi が届かない」、「工学部棟ではつながらない」、「建築学科の製図室に電波が届かない」など、特定の場所で学内無線 LAN が使用できない状況を訴えるものが多く挙げられた。

付属図書館については、「わからない」とした回答者を除くと、本館で 91%、分館で 95%が「満足」または「やや満足」としており、満足度は高いといえる。図書館の不満点として選択回答で最も多かったのは「蔵書の種類」で、本館では不満件数 68 件中 19 件、分館では 16 件中 5 件であった。自由記述による回答でも、「雑誌や漫画などの本も収集してほしい」など、蔵書の充実を望む回答が見られた。

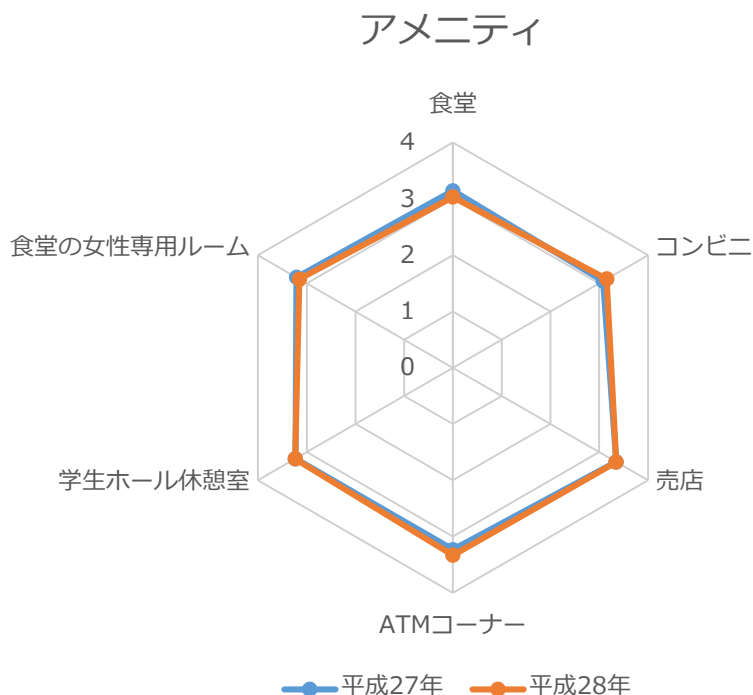


図4 アメニティの質問項目別評価点

アメニティの項目別評価点（図4）は、食堂 3.0、コンビニ 3.2、売店 3.3、ATMコーナー 3.3、学生ホール休憩室 3.2、食堂の女性専用ルーム 3.2で、全項目で「やや満足」に相当する3点を上回った。

食堂に関しては回答者の25%が「不満」または「やや不満」と回答し、不満点として、選択回答では「食事の値段」61件、「メニューの種類」58件、「座席数」48件などが挙げられた。自由回答でも、「料理の種類が少ない」、「メニューが変わらない」などメニューの少なさや、「混雑時の人の多さ」、「受け取り口に列を作るなどしてほしい」など混雑を訴える声が挙げられた。

コンビニでは回答者の21%が「不満」または「やや不満」と回答しており、選択回答による不満点として、「商品の種類」47名、「面積」36名、レジの数32名などが挙げられ、自由回答では「コンビニの数が少ない」、「コンビニの数を増やしてほしい」など店舗数の増加を望む意見や、「営業時間が短い」、「営業時間を延ばしてほしい」など、営業時間の延長を望む意見が多く挙げられた。

食堂の女性専用ルームについて「不満」または「やや不満」とした回答者は、全体の7%に過ぎなかったが、選択回答による不満内容は男女で大きく異なり、男性回答者では「女性専用は不要」が不満件数25件中15件で最も多く、女性回答者では「座席数」が26件中9件で最も多かった。自由記述による回答では「男も座る場所がなくて困ることが多い」、「女性専用ルームがあるなら男性専用ルームも作ってほしい」など、男性からと思われる回答が8件中5件を占めた。

移動・交通手段および衛生面

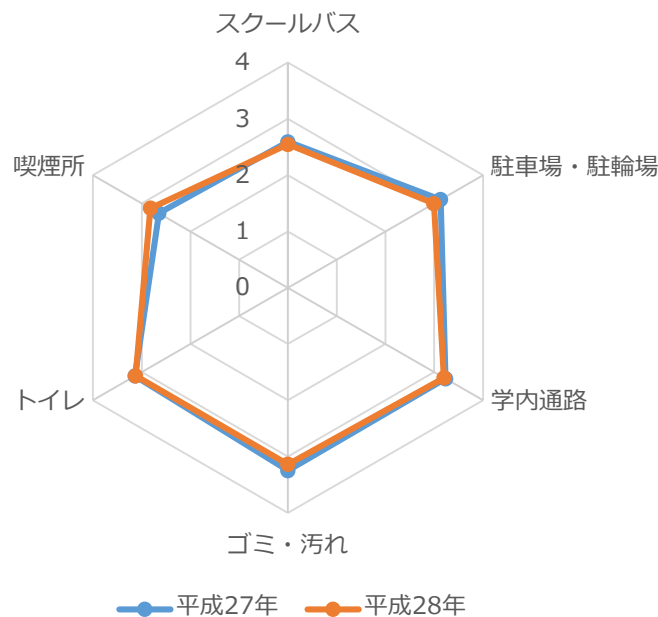


図5 移動・交通手段および衛生面の質問項目別評価点

交通・移動手段および衛生面の項目別評価点（図5）は、スクールバス 2.5、駐車場・駐輪場 3.0、学内通路 3.2、ゴミ・汚れ 3.1、トイレ 3.1、喫煙所 2.8で、全項目が「やや満足」と「やや不満」の中間点である 2.5 以上であったが、スクールバスと喫煙所の評価が他の項目と比較して低かった。

スクールバスの不満点は、選択回答では、「定員になるまで発車しない」83件、「便数（午後5時以降）」68件、「便数（午前9時以前）」64件、「JRとの接続（上り方面）」50件、「運転の安全性」50件などを挙げた回答者が多く、自由記述回答では、「あまりに詰め込みすぎ」、「バスの中が狭い」など混雑度や車内の狭さに関するもの、「バスの揺れで酔って気持ち悪くなる」、「立って乗車するのが危ない」など車両の揺れに関するもの、「朝の時間帯に人が多すぎて乗れないことがある」、「バスの本数が少なく1限目に間に合わないことがある」など朝の便数の少なさに関するもの、「休日の便数が少ない」、「土日のバスが少なすぎて寮生として困る」など週末や休日の便数の少なさに関するものが多く挙げられた。

喫煙所に関しては、全回答者の74%が「わからない」と回答しており、喫煙者数の減少や学内の分煙化が進んでいることの影響がうかがえた。それ以外の回答者26%の内の38%が「やや不満」、「不満」と回答したが、不満内容は主に回答者の性別により異なり、男性回答者では「喫煙所が少ない」（男性回答件数51件中20件）、女性回答者では「喫煙所から臭いが漏れる」（女性回答件数39件中17件）が最も多かった。

体育・文化サークル施設

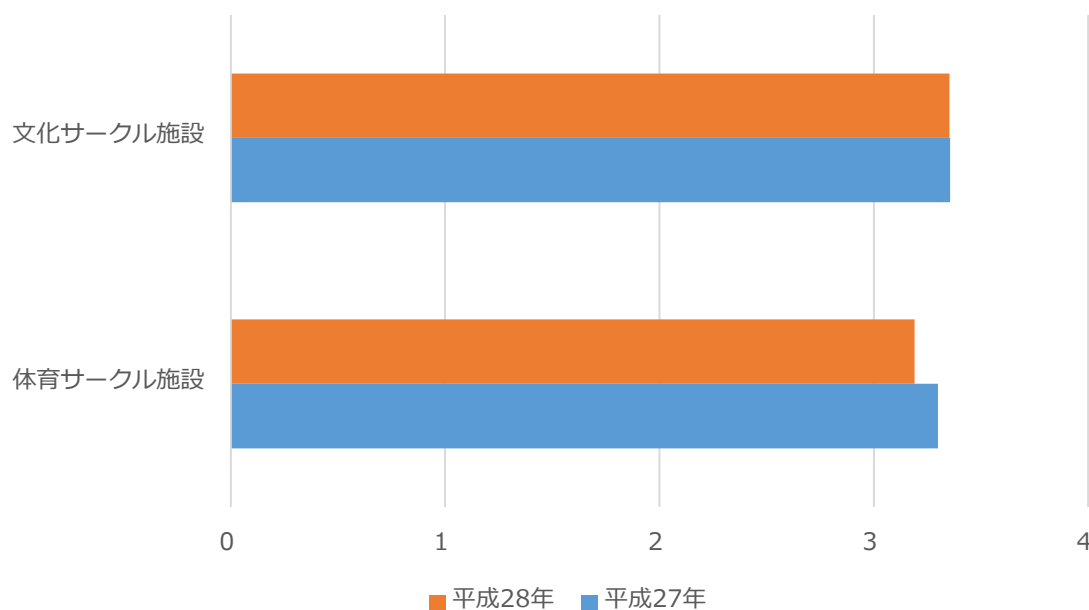


図6 体育・文化施設の評価点

体育・文化サークル施設の満足度についての項目別評価点（図6）は、体育サークル施設 3.2、文化サークル施設 3.4 と、いずれも「やや満足」に相当する3点を上回り、体育系、文科系ともにサークル施設への満足度は良好といえる結果であった。

平成 28 年度の学内施設への要望に関するアンケート結果の全体をまとめると、全項目が「やや満足」と「やや不満」の中間点に相当する 2.5 以上の評価であり、また大半の項目で「やや満足」にあたる 3.0 以上であったことから、どの施設についても大きな不満はなく、一定の満足が得られている状況といえる。今後さらに学内各施設の改良・改善を進め、全学生が効果的かつ積極的に学修と人格形成に取り組める学内環境の整備に注力してゆく。個別項目で相対的に評価の低かった項目については重点的に対策を検討し、来年度以降の満足度向上を目指す。

以上